

秋の祭



第3回定例会

決 算 29年度決算概要・主な質疑 >>> P.2

決まったこと 補正・条例改正他 >>> P.5

一般質問 4人が町政を問う >>> P.7

委員会報告 総務厚生・産業他 >>> P.12

まちの元気 和東中学校3年生 井上堅斗さん >>> P.14

和東天満宮秋の大祭

平成29年度決算

「お茶の京都」全国にアピール 第4次総合計画の交流人口拡大へ前進

平成29年度は、京都府や山城12市町村が、お茶に関わる文化・景観・産業等の発展を通じた「お茶の京都」として全国に向けて大きくアピールされた。

和東町では、ゴルフカートによる茶畑の周遊、茶畑をながめながら和東茶を愉しむ茶畑ハウスの設置や茶源郷まつりの開催等により第4次総合計画の目標である交流人口の拡大と観光消費額の伸び率は府内で第2位の成果とされた。

**観光入込客数
15万人超え消
費額も大きく
アップ**

第3回 定例会では

9月11日開会
26日閉会

平成30年第3回定例会は、9月11日から26日までの16日間の会期で開催されました。町長提出の平成29年度決算認定、平成30年度補正予算、工事請負契約の締結、「過疎地域自立促進計画」の変更、議員発議3件の意見書を提出しました。決算認定は、13、14日の全議員で構成する決算特別委員会にて審議し、平成29年度に取組まれた事業の成果や課題、予算の使い方等について質疑を行いました。討論、採決の結果一般会計及び特別会計の決算認定を原案どおり可決、認定しました。



茶畑ハウス(白栖地内)

地方創生3年目 星野リゾートと 協定結ぶ

平成27年度から始まった地方創生交付金を活用し、29年度は、農家民泊の受入れ、地域住民出資による新たなまちづくり会社の設立、企業のまちづくりへの参

画が芽生え始めた1年になり、更なる茶源郷和東のまちづくりに向け、京都府・星野リゾートとのパートナーシップ協定の締結もされた。



京都府・星野リゾート・和東町のパートナーシップ協定締結

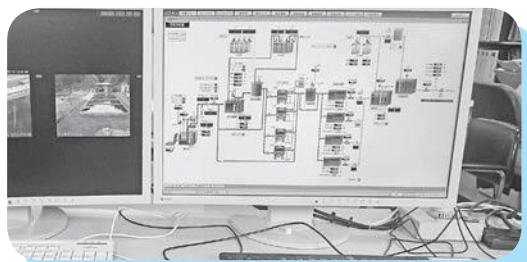
人口増をめざし定住につなげるために

新しい取組みとして、京都府や和東町・笠置町・南山村が共同して相楽東部の地域振興や交流人口・定住人口の拡大に繋げるため相楽東部未来づくりセンターが設置された。

和東町のPRパンフレットやグッズの作成、移住者を呼び込む移住動画も作成された。これまで、進まなかった空き家バンクについても農村振興課から地域力推進課に相談窓口が設置され、更なる取組みがスタートしている。

安心安全な生活や暮らしを支える生活環境の成果

西日本豪雨をはじめ、大阪北部地震や台風による被害が発生し、防災減災に対する迅速な対応が求められた。そのような中、自主防災組織



LIVEで水道施設を監視

決算特別委員会 主な質疑

問 住民参加や住民との協働という点で平成29年度はどのような取り組みをしてきたのか。

答 農泊は非常に大きな成果、100軒近くの登録をいただいた。

問 ふるさと納税の返礼品額が3割を超え趣旨逸脱の指摘を受けたと報道があったが。

答 4月以降で原価の値上げがあり18品目中、1品目で少しの超過があったが、現在は納入業者と調整し全て3割以下である。

問 景観条例を進めるにあたり耕作放棄地や審議会の設置はどうか。

答 耕作放棄地は茶畑景観を守るためにも大きな課

題、農業委員会と調整しながら進める。審議会は外部の有識者を招き組織する予定です。

問 路線バス運行維持費は3000万円を超えているため、赤字補填になるが利用促進のための努力は。

答 高校生の通学範囲も検討しながら来年3月のダイヤ改正に向け努力している。敬老の日に高齢者向け乗り方教室を開催する予定です。

問 台風21号に伴う長時間停電により下水道マンホールから汚物が吹き出す可能性があったのでは。

答 発電機2台で対応したが想定外の長時間停電でバキュームカーも使用した。

現在、処理場・管路施設・マンホールポンプについて災害協定や緊急時の委託契約は締結している。

問 レンタサイクルの乗り捨て化の検討は。

答 乗り捨て場となる管理者、飲食店等と相談している。

問 観光パンフレットの外国語対応は。

答 英語と中国語2種類を用意している。他の言語についても統計を取り検討していく。



レンタサイクル(観光案内所)

問 瓶原大橋付近の不法投棄の対応は。

答 木津川市地内だが府道敷になるので土木事務所に連絡して対応してもらっている。

問 お茶の京都博、和東町での成果は。

答 茶畑ビューイング2017で4315人、観光案内所で5943人の来場がありメディア取材件数も大幅に増加した。

問 災害時の備蓄品に液体ミルクを導入しては。

答 日本では製造承認されただけで値段も高い。消費期限の問題もあり府から被災地に配布されるよう要望していく。

問 人口減が続く中、地場産業のお茶に力を入れた施策を。

答 宇治茶の主産地を守るためにも住民と景観条例を作り農家を守り、支援していく。

問 茶いぐるみライン(サイ

クリングロード)を引いたが当初の安全確保という目的は達成できたのか。

答 山城管内の自転車観光として一定の効果はあった。狭隘な場所も残るので引き続き要望する。

問 消防団員の確保について他の自治体では幽霊部員が問題になっているが。

答 他の自治体では定数を満たすため、そのような事例もあつたと聞く。町でも各部に確認する。



消防団員による放水訓練

平成30年度補正予算 懸案となっていた 総合保健福祉センター計画が前進

平成30年度補正予算や定例会で決まったこと

一般会計

予算現額に9250万円を追加しました。主な事業は次のとおりです。

- ▽災害復旧費 300万円
- 農業用施設 300万円
- 道路橋梁（別所地内） 1950万円
- 河川 360万円
- 道路橋梁（台風21号、22号） 1675万円
- ▽和東町例規集編集委託料 350万円
- ▽相楽東部広域連合負担金（電算システムセキュリティ対策） 301万円
- ▽コミュニティ振興事業補助金（撰原公民館改修事業） 262万円
- ▽施設整備基本構想策定業務委託料（総合保健福祉センター計画） 216万円

▽有害鳥獣関係事業補助金（電気柵、フェンス） 774万円

▽町道維持修繕工事 200万円

▽河川改修事業（原山地内） 750万円

国民健康保険特別会計

直診勘定予算現額に255万円追加しました。

▽修繕費 100万円

介護保険特別会計

予算現額に695万円追加しました。

▽居宅介護サービス負担金 1000万円

▽高額介護サービス負担金 360万円

▽施設介護サービス負担金 △500万円

計画の変更

▽和東町過疎化地域自立促進市町村計画の変更（お茶の駅和東整備事業の追加）

▽湯船辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

契約

▽（仮称）お茶の駅和東（グリーンティ和東）整備工事請負工事契約の締結

平成30年8月20日一般競争入札を行った。
落札率 99.1%

契約金額

5400万円（税込み）

契約の相手方

株式会社 山喜建設

工期

平成30年9月12日から平成31年3月15日

工事内容

- ・増築建築工事（店舗及び玄関増設工事）
- ・改修建築工事（ホール及び便所改修（多用途トイレ新設）屋根葺き替え、外壁吹替え、樋取替え）
- ・公共下水道接続工事



地すべりがおこった現地調査（別所地内）

決議

●2025年国際博覧会の誘致に関する決議

提案者 吉田哲也

議員

可決

賛成者 8人
反対者 1人

意見書

第3回定例会（9月）に次のとおり意見書が提出され、①の意見書は所管大臣等に送付しました。

①水道法「改正」、水道民営化に反対する意見書

提出者 小西 啓

議員

可決

賛成者 全員

②核兵器禁止条約への参加を求める意見書

提出者 岡本正意

議員

否決

賛成者 3人
反対者 6人

③サマータイム（夏時間）導入に反対する意見書

提出者 岡本正意

議員

否決

賛成者 2人
反対者 7人

各議員の賛否

平成30年第3回定例会(9月)に、町長から提出された議案のうち賛否がわかれたもの。

審議結果	会議区分	議案名	議員名									
			吉田哲也	藤井清隆	村山一彦	井上武津男	岡田泰正	岡本正意	畑 武志	竹内きみ代	小西 啓	岡田 勇
認定	委	平成29年度和東町一般会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定	委	平成29年度和東町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定	委	平成29年度和東町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定	委	平成29年度和東町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○
認定	委	平成29年度和東町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	-	○	○	○	○	×	○	○	○	○

※会議区分 本は本会議 委は決算特別委員会 ○は賛成 ×は反対 -は採決に加わらない。
吉田哲也決算特別委員長は決算認定の採決に加わらない。

一般質問

町政を問う！ 提案する！

9月11日に行った一般質問には、4人の議員が質問に立ち、町長等に対して様々な課題についてたどしました。各議員の質問項目を紹介します。

①村山 一彦 議員 (8ページ)

1. 猿対策として家庭菜園に檻を設置するための資材購入費に補助金を
2. 災害対策について

②岡本 正意 議員 (9ページ)

1. 迫るクリーンセンター稼働期限への対応は
2. 定住促進へ住宅の整備、確保を
3. シルバー人材センターの創設を
4. 保育無償化への対応は

③竹内 きみ代 議員 (10ページ)

1. 「人生100年時代」を見据えて定年後の人生を健康で豊かに過ごすために、行政が取り組むべきこと7点について問う

④岡田 泰正 議員 (11ページ)

1. 和東町人口ビジョン(人口減少が続いている現状を見定めた分析と施策は)
2. 移住・定住について

一般質問は、町の行財政全般にわたる議員主導による政策論議です。

質問時間は答弁を含め1時間以内で、時間内に何度でも質問できます。記事は質問順で、内容は本人から提出された要約原稿です。

詳細は、後日ホームページに掲載する議事録でご確認ください。



問
家庭菜園に
檻設置の補助金を

答
前向きに検討していく



村山 一彦 議員

問
西和東全体で認定避難所
が白栖公民館のみとは少な
いのでは。

答 総務課長
地域防災計画の見直し
の中で浸水地域、土砂災害の
危険のないところを再度検
証しながら検討していく。

と考えている。区の役員
の皆さん方、消防団の方と協
働しながら体制をとってい
く。

問
町職員の和東在住者の比
率は。

答 総務課長
和東町災害対策本部とし
て従事できる職員は70人、
管理職職員は16人で11人が
町内在住者で約69%。全体
としては70人中21人が町内
在住者で30%である。夜間
の地震等の対応について
は、11人の管理職を中心
に業務に当たらせていただ
く。

問
和東町には外国の方もた
くさん来られている。災害
が起これば役場の窓口を押
し寄せるケースも考えられ
る。語学力に秀でた職員の
配置が必要と考えるが。

答 総務課長
庁舎内で勤務している職
員は52人。この内、大学等
で外国語を修学した職員も
数名いる。現在では、スマ
ートフォンやパソコンの翻
訳できるアプリやツールが
あるので、それらを活用し
て対応していきたい。

問
猿対策について

野菜づくりは、お年寄り
の少ない楽しみだが、猿
のために収穫はほとんど望
めない。猿対策として、天
井部分を防いだ檻の設置が
一番効果的と考える。その
資材費の半額程度の補助金
拠出は、お願い出来ない
か。

答 町長
従来の有害鳥獣対策は、

国の補助事業を受けて対応
してきたが制度があり、和
東町の実態との中に乖離が
あった。前向きに取り組む
という姿勢からどのような
方法があるか、対象がどれ
くらいか、もう少し見定め
ながら、検討していく。

問
家庭菜園を通して、生き
がいを感じ、健康寿命を伸
ばしてもらいたいと考える
が。

答 町長
農業、土に携わるのは健
康寿命を延ばすには有効な
手段と考えている。檻の補
助金については、生きがい
対策ということで、制度設
計から検討していきたい。

問
災害対策について

和東町は、今、ハザード
マップの修正を実施されて
いるが、大きな修正はある
のか。住民の皆様にはいつ
届けるのか。

答 総務課長
人権ふれあいセンターに
10世帯11人。体験交流セン
ターに1世帯1人。B&G
海洋センターに3世帯6
人。社会福祉センターに1
世帯1人。白栖公民館に2
世帯2人。計17世帯22人。

問
台風21号のときの避難者
数は。

台風21号のときの避難者
数は。

問
和東町在住の職員の比率
を上げることが必要と思
うが。

答 町長
災害時には職員の限られ
た中での対応は限度がある



檻の中で家庭菜園



稼働期限が迫る東部
クリーンセンター

問

稼働期限迫る
クリーンセンターの方向性は

答

住民には迷惑かけない
方向で検討している

問

以前、10月頃に結論だす
と言われていたが。

答 町長

その方向で努力してい
る。

問

民間委託の場合の試算は
したのか。

答 町長

その前提で考えれば、当
然、試算は行っている。

問

地元区への説明状況、全
住民への周知の予定は。

答 町長

環境問題の協議会の中で
報告し考えを示している。

問

収集日や分別の変更はな
いのか。

答 町長

基本的に従来通りで変更
はない。

定住促進へ、住宅の
整備、確保を



岡本 正意 議員

問

空き家バンクの運用状
況、今後の見通しは。

答 地域力推進課長

現在登録が5軒、利用予
定が1軒。今後も空き家の
掘起こしを進め、改修助成
制度も活用し進めたい。

問

今後の登録の目標は。

答 地域力推進課長

以前の調査では19軒は可
能性があり、引き続き登録
を進めたい。

問

空き家情報発信の改善
を。

答 地域力推進課長

先進事例も参考に改善し
たい。

問

改修助成は特区以外でも
同じ水準に改善を。

答 地域力推進課長

制度上、難しい。府の制
度運用に従いたい。

問

「お試し住宅」が湯船に
整備されたが、他地域での
整備は。

答 地域力推進課長

移住促進特区の指定を呼
びかけ、さらに設置を進め
たい。

問

若い世代向けの町営住宅
整備の検討を

答 町長

町直営は財政的に困難で
あり、民間の力を活用した
い。

問

トンネル開通を待つてで
はなく、独自の住宅整備を
決断すべきでは。

答 町長

財政が厳しく、直接経費
がかかるものは避けたい。

シルバー人材センタ
ーの早期開設を

問

現在の検討状況は。来年
度からの運用開始へ努力
を。

答 町長

一日も早く実現する方向
で進めている。

保育料無償化の動き
への対応は

問

国は来年度から無償化の
方向だが、準備は。

答 町長

国から具体的な提示がな
く充分注視し対応する。

問

0〜2歳児も町独自で無
償化を。

答 町長

子育て支援との整合性を
考え検討したい。

問

保育料以外の経費も無償
化を。

答 町長

保護者負担の軽減へ検討
している。

問

人生100年時代を見据えて
行政が取り組むべきことは。

答

全てを生かして
対応できる方向を検討

問

いきいき元気塾、すこやか
カフェアト教室、シニアラ
イフサポート学級事業の成
果と今後の課題は。

答

福祉課長

介護予防事業全体で、年
間約100名の方が参加。
今後は介護予防に関する意
識の向上と事業の周知を考
える。

問

がん検診、特定検診の実
態と課題は。

答

福祉課長

29年度の受診率は胃がん
8%、肺がん37%、大腸が
ん28%、乳がん43%、子宮
がん18%、前立腺がん27%
であり、今後受診率向上を

めざす。

答 税住民課長

特定検診は40%の受診率
であり、国が示す目標60%
に向け周知・広報していく
ことと保健指導を行う。

問

団塊の世代が75歳になる
平成37年は、65歳以上の高
齢者が約50%と推計され、
要介護認定者は約25%にな
る。介護保険事業費の見込
み額は。

答 福祉課長

6億5100万円余りと
見込んでいる。

問

受診率向上のため個別勸
奨・再勧奨の実施は。



竹内 きみ代 議員

答 税住民課長

受診率向上を目指し、あ
らゆる手段を講じていきた
い。

問

現在の平均寿命と健康寿
命の差は。

答 町長

26年度で男性78歳、女性
84歳と府内の平均数値より
も上回っている。

問

府は健康寿命を5年間で
1歳延伸するとの目標を発
表したが、本町の目標数値
は。

答 町長

関係機関と連携し、目標
数値を設定した上で健康寿

命の延伸に努める。

問

フレイルチェック、歯科
検診、口腔ケア検診がで
きないか。

答

特定検診と合わせて実施
する場合、国保の被保険者
だけでなく住民全体となる
ので、広域での取組みを検
討すべきと考える。

問

受動喫煙防止対策、公共
施設での対策は進んでいる
のか。

答 総務課長

現在は、受動喫煙防止を
図るため喫煙場所を指定し
ているが、国の法律改正に
より、敷地内禁煙となれば
適正に対応する。

問

高齢者肺炎球菌ワクチン
予防接種費用の助成が31年
度から65歳のみ対象とな
る。66歳から69歳までの救
済措置を。

答 町長

制度が変わることで後退

にならないよう現課と十分
協議し検討する。

問

高齢者の就労支援につ
いての考えは。

答 福祉課長

現在、社協に委託事業で
軽度生活援助や外出支援、
農村振興課での茶摘み募集
などがあり、今後は関係機
関と連携を図り進めてい
く。



シニアライフサポート学級でいきいきと

問

将来展望人口推計は

答

50年後の推計は
2388人

問

地方経済を活性化するためには人口を回復増加させることが必要である。将来展望人口の減少を緩やかにする対策は。

答 町長

基幹産業を生かし、定住人口と交流人口に力を入れ将来のまちづくりとして、農村空間を考えている。また犬打峠トンネルを見据えた町づくりも大きく影響してくる。

問

地方創生総合戦略の政策誘導による人口増加の勝算は。

答 地方創生担当課長

平成22年の国勢調査人口4482人が平成72年では1452人まで減少見込み

だが、次の様な施策を講じて2388人に上昇させる。

- ①茶を軸とした働く場を作る
- ②交流人口を増し定住人口に繋げる
- ③若い世代の出会い等の希望をかなえる
- ④安心な暮らしを守り交通インフラの強化に努める。

問

※第二定住人口の目標は平成32年には約300人としている、現状と見通しは。

答 地方創生担当課長

平成28年度は援農者18人延べ54人、平成29年は援農者16人延べ48人であった。今後は援農やサテライトオフィスの利用拡大を図り農村の体験学習、森林を活用した環境教育、教育研修等の取り組みにより拡大を

図りたい。

問

人口増の施策として「自然増」か「社会増」か。

答 町長

社会増を図ってから自然増に繋げる。移住促進を進めながら自然増が次の社会増に繋がり、互いに相乗効果を生むことを期待している。

問

積極的な人口増を目指す「拡大社会」か、人口減少はやむなし元気な町としての「縮小社会」なのか。

答 町長

拡大、縮小社会とかが一つの目標を決めて施策を進める事は現実的ではない。広く社会増に軸足を置いて積



岡田 泰正 議員

極的な町づくりをすべきだ。

移住、定住について

問

交流人口を増やし定住に繋げる獲得対象層は。

答 町長

獲得対象を絞って施策を打つことは非常に難しい。若者の定住は大事な獲得対象層である。牽引事業を入れながら六次産業等の応援宣言をしている。

問

働く場の創出、住まいの確保の対策が物足りない。今後の展開は。

答 地域力推進課長

①働く場では、サテライトオフィスの誘致やテレワークの推進、学研都市の立地企業にも働きかけ、茶産業の振興を図り雇用の場を創出したい。景観条例の作成に当たっても、茶業振興を柱に掲げ条例に基づく振興策を検討している。

②住居の確保では空き家バンクを昨年度立ち上げ物件掘り起こしに努力している。利活用するには老朽化が激しく改修困難な物件が多く課題も多い。更なる空

き家の掘りこしを進めたい。

問

団塊の世代が高齢化を迎えようとしている今、元気な高齢者の社会参画の働く場の政策展開が必要だと考えるが。

答 町長

雇用の創出が大切であり高齢者が元気で働ける地域づくりは基本的な施策です。

問

固定資産税の上乗せ分の撤廃は評価替えの時点で方向性を示していきたいと表明されていたが。

答 町長

地籍調査が全部終わった時点で見直したい。前座の約束として一日も早く実現する。

※第二定住人口とは都市住民が本人や家族のニーズ等にに応じて多様なライフスタイルを実現する為の手段の一つとして、農山漁村の同一地域で中長期(1~3か月程度)定期的反復的に滞在する事。

総務厚生常任委員会

記録的な暑さと台風や豪雨に体制を整える

委員長 竹内きみ代

本委員会は、8月30日に平成30年度の事業の進捗状況や平成29年度の決算の概要などについて事務調査を行った。

総務課

○ふるさと応援寄付金は、ヤフー株式会社と契約し「ふるさとチョイス」で24時間いつでもクレジット決済ができることになった。

○和東小学校の災害時用マシオンホールトイレは設計業者と契約を締結した。

地域力推進課

○地域おこし協力隊が8月から1名採用され3名体制となった。

○8月に「お茶サミット2018」を開催し、茶産業についての講演やシンポジウム、和東中学生

徒によるおもてなし茶会を実施された。

○広域観光推進業務委託では、活性化センターにおいて農泊の推進を図り、観光入込客数の増加に繋がっている。

税住民課

○高校生までの医療費無償化は、4月から6月の実績で高校生の整骨院受診などが多くを占めている。

○国民健康保険による人間ドックには134名の申し込みがあった。

福祉課

○介護保険事業において7月現在、在宅サービス受給者は153名、施設サービス受給者は77名となっている。

委員からの意見・質問

問 台風12号・20号、豪雨などの避難のあり方は。

答 避難所6か所を開設し早い避難を呼びかけた。

問 B&G海洋センター等公共施設の空調設備の状況や対応は。

答 空調は新たな予算が必要になる。

問 景観条例説明会の周知方法や内容については。

答 これまで検討委員会を2回開催。12月に中間案を提示する。

問 ふるさと納税については目的を定めた設定をしてはどうか。

答 成功例を参考に内部で検討する。

問 国では障がい者雇用の水増し問題がある。本町での障がい者の法定雇用率は。

答 法定雇用率23%で達成している。

広域連合議会報告

相楽東部広域連合議会



お茶サミットで和東中学校生徒によるおもてなし茶会

7月13日に和東町議会議場にて開催された。一般質問は2名が行い、うち和東町の岡本議員はクリーンセンター稼働期限後の対応と教育費の負担軽減について質問された。次に、平成29年度一般会計補正予算の専決処分が承認された。

議案第4号認知症初期集中支援事業の実施に関する事務を連合の事務に追加する事を内容とする。広域計画変更が提案され、全員一致で可決した。議案第5号平成30年度一般会計補正予算が審議され全員一致で可決した。同意第2号では、公平委員会委員に和東町の森脇美隆氏が選任された。

産業常任委員会

府道木津信楽線井平尾地内
道路拡幅工事の早期完成を

委員長 吉田哲也

本委員会は、8月28日に開催され、平成30年度の事業の進捗状況や平成29年度の決算の概要などについて事務調査を行った。

事業進捗状況では、一般会計歳入では32億5800万円の子算に対し、36%の

収納率となっている。歳出では、24%の執行率であった。

農村振興課

7月の台風12号で被害のあった運動公園周辺の倒木の処理や29年度からの繰越事業であるグリーンティ和東周辺駐車場整備工事を進めている。青年就農給付金事業は、現在京都府に申請中。お茶の駅構想プロジェクト事業としてパンフレットの作成や新商品の開発と販路拡大における助成金を

計上しており事務を進めている。年々農家数が減ってきているが現在の営農組合の状況は、野生鳥獣被害総合対策事業では発信機2台を購入し、猿につけ、9月中頃には園区内に捕獲檻の設置を予定している。

建設事業課

町道山口線拡幅改良工事は既に発注しており工事を進めている。門前橋の落橋工事は10月下旬以降の予定。災害復旧事業では、30年に発生した農地・道路橋梁・河川災害の補助対象分については、それぞれ9月中頃に査定を受け、10月以降の工事発注となる。補助対象とならない道路橋梁や河川の倒木、落石などの災害は、応急的に対応している。また29年に発生した災

害復旧事業の繰越分の工事については、すべて発注している。

各委員からは、農地のパトロールの現状、お茶の駅プロジェクトの進捗状況。府道木津信楽線の井平尾地内の道路拡幅工事はいつ完成するのかの問いに、京都府に早期工事完成を強くお願いしており、今後も要望していくとのことでした。

現地調査では、7月初旬の豪雨で被災した別所地内の道路地すべりなどの調査を行い、被災の状況や今後の復旧計画などについて担当課長から説明を受けた。



府道木津信楽線(加茂町井平尾地内)

広域連合議会報告

京都府地方税機構広域連合議会

8月4日、ルビノ京都堀川にて定例会が開催された。まず、選任人事案件が提案され、山内副知事と奥田城陽市長が副広域連合長に選ばれた。次に監査委員に与謝野町議会選出の家城議員が選任された。

続いて行政事務の簡素化を内容とする第1号議案が提案され、賛成多数で可決された。第2号議案、平成29年度一般会計歳入歳出決算認定は、賛成多数にて可決された。29年度の徴収業務については、収納率は昨年比2.3ポイント上昇した。一般質問では4名の議員が質問された。

京都府後期高齢者医療広域連合議会

8月24日、第2回定例会が京都府国民健康保険団体連合会会議室で開催された。始めに人事案件で、亀岡市の桂川孝裕市長を広域副連合長に、渡辺隆氏を事務局長に選任された。一般質問は4名の議員により行われた。

続いて、専決承認に係る平成30年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算が審議され承認された。平成29年度一般会計決算及び特別会計決算、議案第6号平成30年度特別会計補正予算が審議され、それぞれ認定、可決された。

承認第4号は、健康保険法施行令の一部改正に伴う府の高齢者医療に関する条例を一部改正するもので原案どおり承認された。議案第7号は、東日本大震災の被災者に対して今年度保険料減免、期間延長するための条例を一部改正するもので、原案どおり可決された。

まちの
“元気”を
訪ねて

円盤投げや、やり投げにも挑戦したい

「～和東中学校3年生 井上 堅斗さん～」

8月20日に岡山県で開催された「第45回全日本中学校陸上競技選手権大会」男子砲丸投げの部で見事優勝された井上堅斗さんにお話を伺いました。

Q 砲丸投げを始められたきっかけは。

A 過去に野球経験もあったことから担任の先生に勧められました。

Q 優勝した時の気持ちは。

A 大会では、飛距離は出たものの内容的に自分が納得できるものではなかった。もっと出来たはずという気持ちもあり満足はしていません。

Q 砲丸投げを始めて、良かったことは。

A 試合や練習、代表合宿などを通して全国の良きライバルに出会えたことです。また毎日の練習を共にしている部活のメンバーに出会えたことも良かったです。



Q 苦労されたことは。

A 練習は大変だが、やらないと強くなれない。そのため苦労と感じたことはないです。

Q 砲丸投げの魅力は。

A 選手によってフォームが違ったり奥が深い。ため1回の観戦ではなかなか魅力が伝わらないので何回も観戦してもらいたい。良い記録が出る時は、投げた感覚でわかります。

Q 自分の長所、短所は。

A 性格的には負けず嫌いであり、コツコツ練習することも得意です。また、こだわりが強いので何時もフォームなどの研究をしています。

Q 試合前に食べる勝負飯や好きな食べ物は。

A 鶏肉が好きで試合前は、胸肉やササミで良質なタンパク質を取るようになっています。自分の持ち味は瞬発力です。そのため太らないようには気をつけています。

Q 今後、やってみたいことは。

A 高校に進学しても円盤投げや、やり投げなど他の種目にも挑戦していくつもりです。

(取材 小西 啓)

第4回定例会は、12月12日開催予定。傍聴にお越しく下さい。

編集後記

朝・夕の冷え込みを一段と体感する季節となりました。今年は猛暑のうえに日本列島を縦横断に直撃する数多くの台風や大阪北部地震など、近畿圏全域に大きな被害をもたらしました。被災されました方々に謹んでお見舞い申し上げます。

9月定例会では、平成29年度の一般会計他6特別会計の決算審査を中心に議論されましたが、依然として少子高齢化が進む中に、限られた財源で町の将来、存続を見据えた上で、地域住民の要望に如何に応えるかが求められています。地方創生が叫ばれる今日、和東町の特性を生かし、財源の確保や国・府の直轄事業の誘致推進を行うことが重要ではないでしょうか。

今後もみなさんに読んでいただける充実した議会だよりの発行を目指してまいります。ご意見などお寄せいただければ幸甚に存じます。

(吉田 哲也)

広報編集委員会

- 委員長 竹内 きみ代
- 副委員長 吉田 哲也
- 委員 藤井 清隆
- 委員 村山 一彦
- 委員 小西 啓